

ときめき きらめき いきいきを伝える

広報



Seki

2018

10

No.1692

特集



Seki-Biz

そうだ、

に行こう。

TOPICS

- ・第51回刃物まつり…P6, 7
- ・市政功労者、教育功労者表彰…P8
- ・お知らせ…P24~30
- ・文化会館／図書館…P31
- ・しあわせヘルスだより…P32, 33

挑戦する人の熱意に応える場所「セキビズ」

セキビズは、平成28年7月に市が開設したビジネスに関する相談所。起業の準備から創業後の集客に関する相談や中小企業の売上げアップなどのサポートを幅広く行っています。各事業者の強みを引き出し、できるだけお金をかけずに売上げアップにつながる方法を考え提案することが特

徴です。さまざまな情報やアイデアを出して、無料で継続的にサポートします。

開設からこれまでに延べ3300件以上の相談を受け、多くの事業者の業績アップや開業につなげており、地域経済の活性化、まちの活力を生み出すチカラとなっています。



▲セキビズ副センター長
松浦俊介さん

「チャレンジする人に親身に寄り添い、その一歩をサポートできる場所でありたい。」と話すセキビズ副センター長の松浦さん。

「一人でも多くのチャレンジャーを輩出することが私たちの役割です。そのためにはチャレンジする人の想いを尊重し、まずはお話をじっくり聞くようにしています。その中で相談者が気づかない強みを見出し、よりスムーズに進んでいけるアイデアを一緒に考えます。もちろん提案の強要もしませんので、ご安心ください。試しに話でも聞きに行ってみようかな、というくらい気軽に利用してもらいたいですね。」

Point 03

結果につながるまで継続的に支援!

相談は無料!創業の場合も、創業前から創業後の集客アップに向けた支援まで丁寧にサポートします。

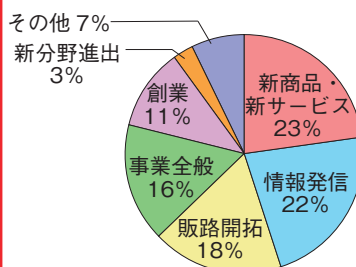
お気軽に
ご相談ください!



Point 02

幅広く創業・経営課題に対応!

ビジネスコーディネーターやデザインスタッフが、集客や商品開発、創業など幅広く相談に対応します。

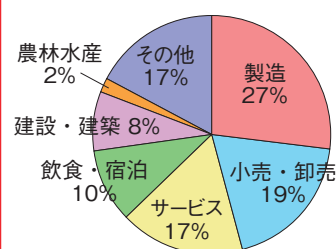


相談内容割合
H28.7.20~H30.6.30

Point 01

すべての業種・業態をサポート!

製造業、小売業、飲食店、サービス業、建設業など、どんな業種・業態にも対応しています。



業種別割合
H28.7.20~H30.6.30



ニッケン刃物株式会社
代表取締役社長

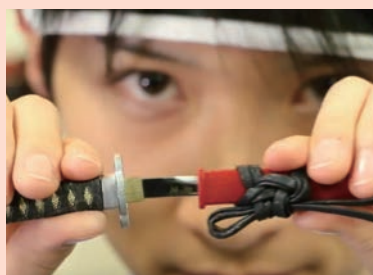
熊田 祐士 さん

「相談に行くことが 楽しみでしようがない」

セキビズが開設されたときから利用しています。企業にはない目線と幅広い知識から鋭い切り口で、自分では考えもつかなかった提案をもらっています。自社で企画した商品について相談に行ったら、親身になってキャッチフレーズを考えてくれたり、マスコミへのリリースや販路拡大の方法などを教えてもらいました。毎回知らない情報を提供してもらえるので、今日はどんなことを教えてくれるのかなと楽しみになり、気がつけば、毎月通う常連客になってますね。

セキビズのおかげで確実に業績がアップしている実感があります。自分にとってなくてはならない存在ですね。

▶ 自慢の「日本刀はさみ」。セキビズの提案で、地域ゆかりの武将の家紋が入ったご当地モデルを展開し、全国7カ所の地域との連携が実現。



◀ 「名刀ペーパーナイフ」の使用実演動画の一部。PR動画の作成経験がなく、困っていたところ、安価でクオリティの高い動画が作れる方法をセキビズが助言。

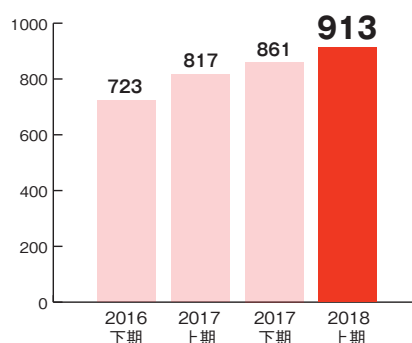


＼ 私たちがサポートします！ ＼



相談件数▶

開設から1年で、当初目標の4倍となる1,540件の相談を受けました。口コミや紹介で利用される方も増え、2年目は1,770件を超えました。



1人1人のチャレンジが **地域**の魅力につながっていく

—思いが行動が変わっていく—セキビズは、皆さんの挑戦しようとする気持ちを応援してきました。

セキビズをきっかけに新たな1歩を踏み出し、思いを形にした3組のユーザーに話を聞きました。

漁業用刃物から農業用刃物へ

セキビズが教えてくれた異なった視点

漁業用刃物の販売低迷に悩んでいた吉田さんは、口コミで聞いたセキビズに相談へ。その頃、沖縄の漁業兼農家の女性から「漁業用の鎌で、さとうきびの繊維を刈ってみたら、スパッと切れた」との電話を受けたところでした。この声に着目したセキビズは、農業分野への展開を提案。現状の農業向け刃物をリサーチした上で、農園に協力を依頼し、切れ味を試してもらいました。使用感から利用シーンを絞り込み、商品の名称や販売先、PR方法なども提案。そうして、できあがった鎌は1日で二百個売れたこともありました。7月豪雨の際に災害にも役立つ実績を踏まえて、現在は災害用商品の展開を考えて、月に1回は相談に通っています。



株式会社関菊水刃物 代表取締役 吉田 浩淳 さん



小瀬鵜飼×珈琲＝鵜飼ブレンド

セキビズは、産業支援の拠点になっています。2ヶ月に1回、オリジナル珈琲ブレンドを提案する相談に行っていたところ、集客アップを模索していた閑遊船さんと引き合わせてもらい、『鵜飼ブレンド』が生まれました。漆黒の闇の中に浮かぶ、かがり火を珈琲でどのように表現するのかを追求するため、何度も試作。小瀬鵜飼でしか味わうことができない体験を提供することで、これまで鵜飼に馴染みのなかった方にも興味を持ってもらいたいです。

カフェ・ド・ギャラリーアダチ
代表取締役社長 小森 敦也さん



カフェ・マビッシュ 店主 亀山 久美子さん

カフエ×お寺 民泊寺カフエ



善光寺 住職 佐藤 舜海さん

お気軽にご相談ください

- 営業日 火曜～土曜（日・月・祝日休み）
- 相談時間 午前10時～午後5時
予約時間は午前9時30分～午後5時
- 住所 〒501-3208 関市若草通2-1
わかかさ・プラザ学習情報館3階
- 問合せ TEL:0575-23-3955
E-mail:info@seki-biz.net

「お寺の茶店を有効活用し、気軽に休憩できる場所にしたい」と、宿坊体験ができる民泊に思いを馳せる佐藤さん。その佐藤さんとタッグを組む亀山さんは、『泊まれる寺カフエ』（来年1月）オープンに向け、セキビズのサポートで先月、クラウドファンディングを開始。「セキビズは、縁の下の力持ち。苦手な分野もサポートしてくれるので、SNSでの宣伝方法も随分教えてもらいました」関市を訪れた人が、周辺をぶらぶら歩ける雰囲気づくりを目指して、日々奮闘中です。